

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1004002

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	クリーンセンター等保守管理		所管局部課等	環境政策局適正処理施設部施設整備課	
			(連絡先)	212-8500	
	ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-4-2-0-0_5.html		(評価票作成者)	施設整備課長 森田 弘之

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 効率化等による 見直し	24予算額 (千円)	事務事業の内容	
1,468,474	1,992,329		1,484,417	各クリーンセンターにおいて、市内から発生するごみを衛生的に処理し、施設を常に最良の状態で稼働させ、各種法令に適合するための点検整備を実施する。他に各リサイクルセンター等の性能を維持するための保守管理を実施する。	
業務運営方法	☐ 直営	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 委託先：川崎重工業(株)等 委託内容：各施設の保守管理を委託			
	☒ 部分委託				
	☐ 部分補助等				
	☐ 全部委託				
	☐ 全部補助等				
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、労働安全衛生法等			事務事業の性格	☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業
				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分		H20年度決算	H21年度決算	H 2 2 年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)		1,684,511	1,547,696	1,468,474	1,992,329	1,484,417
		工事請負費			18,050	12,988		
		需用費			9,954	6,498	6,500	6,500
	①'	委託料	(保守管理)	1,684,511	1,519,692	1,448,988	1,985,829	1,477,917
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)		100.0%	98.2%	98.7%	99.7%	99.6%
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)		315,482	310,607	274,405	274,405	285,302
		職員 (課長級) (人)		1.80	1.70	1.74	1.74	2.04
		職員 (課長補佐級、係長級) (人)		14.20	14.20	7.98	7.98	8.35
		職員 (係員) (人)		16.80	16.80	21.11	21.11	21.56
		嘱託職員等人件費 (千円)						
	④	年間経費 (①+③) (千円)		1,999,993	1,858,303	1,742,879	2,266,734	1,769,719
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)					247,000	
		国庫・府支出金 (千円)						
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)						
		その他 (市債) (千円)					247,000	
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)		1,999,993	1,858,303	1,742,879	2,019,734	1,769,719
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名 クリーンセンター等保守管理

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2 年度
	①	施設数	工場	9	9	9
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	1,999,993	1,858,303	1,742,879
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	222,221,456	206,478,077	193,653,223
	④	単位当たり経費変動率			-7.1%	-6.2%
				評価	良くなった	良くなった
分 析	(コスト変動の理由等)					
	平成 2 1 年度と比べ、平成 2 2 年度の経費が減少したため効率性が良くなった。 各クリーンセンター等の保守管理に係る経費は、稼働年数に伴って点検箇所・整備内容が増えるため増加傾向にある。各施設の稼働年数により点検整備箇所は増減するが、点検整備の内容を精査し、整備時期を先送りするなどして、経費節減に努めた。					
B 市民満足度	<調査の有無>		<調査方法>		<調査時期>	
	☐ 有 ☐ 無 ☒ 該当しない					
	(調査結果、現状分析等)					
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境	<現状分析、今後の方針等>				
	☐ 関連	クリーンセンターから排出されるダイオキシン類等の有害物質をできる限り低減させる等、周辺環境の保全に配慮した保守管理を行う。				
	☐ 一般					

平成23年度の実施状況 保守管理の内容について、点検整備内容を精査し、整備項目及び部品交換サイクルを見直すなどコスト削減を行っている。

Ⅲ 今後の方向性

効率化等による
見直し

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)

クリーンセンターの4工場から3工場体制への移行を見据え、整備経費等の削減に取り組んでいく一方、クリーンセンター等の機器は使用及び経年劣化により消耗、損傷が進行し、必然的に整備項目が増加し、その保守管理経費についても増加していくため、さらなる経費の節減に、引き続き努めていく。